



# 長崎大学 (長崎県)



研修目的(a)(b)のどちらにも対応できている。

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

長崎大学は、多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境科学部、水産学部を持つ総合大学であり、7つの大学院（多文化社会学研究科、教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、水産・環境科学総合研究科、医歯薬学総合研究科、熱帯医学・グローバルヘルス研究科）と2つの研究所（熱帯医学研究所・原爆後障害医療研究所）を有する教員数約1,258人、学生数約9,276人の国立大学法人である。

長崎大学は、長崎に根づく伝統的な文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献することを理念としている。

### ② 国際交流の実績

長崎大学は海外の243の大学と交流協定を締結しており、2018年5月1日現在、576名の留学生が、それぞれの所属する学部、研究科等の組織の中で勉学、研究に励んでいる。また、留学生教育・支援センターには日本語・日本文化専攻の学生を対象としたプログラム（定員50名）がある。

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2018年：留学生数576人、日研生1人

2017年：留学生数509人、日研生1人

2016年：留学生数460人、日研生3人



### ④ 地域の特徴

本学がある長崎市は九州の西端に位置し、青く澄んだ海と緑豊かな山々に囲まれ、気候も温暖な都市である。長崎港は、200年間に及ぶ日本の鎖国時代にあってもアジア、西欧との交易のために日本で唯一開かれていた。長崎市民はこのような国際交流の伝統を受け継いで開放的で人情味豊かであり、留学生にも非常に好意的である。



## ■コースの概要

### ① 研修目的

- (a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。
- (b) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

### ② コースの特色

長崎大学では日研生の留学目的(a)(b)のどちらにも対応できるように配慮している。本学の3つの学部（多文化社会学部、教育学部、経済学部）のうちから日研生の学業目標達成を最も効率的に支援できる学部所属し、当該分野の指導教員の履修指導に基づいて日研生の希望に沿った科目等を履修するとともに、留学生教育・支援センター日本語担当の教員の指導の下、日研生の日本語能力に応じた日本語・日本研究科目も履修できる教育カリキュラム体制を準備している。

### ③ 受入定員

8名（大使館推薦6名、大学推薦2名）

### ④ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験のN2以上に合格しているか、それと同等以上の日本語能力のある者。（1年次在籍者を除く。）

### ⑤ 達成目標

- (1) 日本語能力試験N1に合格、あるいは、合格相当以上の日本語能力を修得する。
- (2) 講義や演習を通して日本文化の理解を深めるとともに、興味のあるテーマについて研究できるようにする。

### ⑥ 研修期間

2019年10月1日 ~ 2020年8月31日

修了式は8月を予定（2018年は8月10日）

## ⑦ 研修科目の概要・特色

所属した学部の専門科目とともに、教養教育科目も履修可能である。また、留学生教育・支援センターの日本語科目は学生のレベルにあった科目を履修できるとともに、センターの特別プログラム科目の中の「日本研究科目」についても履修が認められる。

### (A) 日本語科目（中級～上級）－選択

中級Ⅱ会話	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ読解	前期及び後期	90分授業30回
中級Ⅱ作文	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ聴解	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ漢字	前期及び後期	90分授業15回
上級Ⅰ読解	前期及び後期	90分授業30回
上級Ⅰ総合	前期及び後期	90分授業30回
上級Ⅱ総合A	後期	90分授業30回
上級Ⅱ総合B	後期	90分授業30回
上級Ⅱ総合C	前期	90分授業30回
上級Ⅱ総合D	前期	90分授業30回
日本語上級Ⅱb	後期	90分授業30回
日本語上級Ⅱa	前期	90分授業30回
日本事情	後期	90分授業15回

(注) 授業は、他の留学生とともに受講する。



### (B) 専門科目－選択

それぞれの専門に応じて、選択受講する。

#### ・学部開講の科目

(例) 日本を知る、アジア理解への扉、  
国語学概論、国語学史、近代文学、  
国文学史、日本史通説、日本書道史、  
日本語からたどる文化、比較文化論、  
文化の交流と共生、文化と対人関係、  
国際関係論、国際協力論、  
ジェンダーと人権、  
地域を越えるマネジメント、紛争と平和

(注) 上記科目は学部学生（日本人学生及び留学生）とともに受講する。

#### ・留学生教育・支援センター開講科目

##### \* 日本語日本文化専攻学生対象科目

日本研究Ⅰ：人間と文化  
日本研究Ⅰ：言語と社会  
日本研究Ⅱ：人間と文化  
日本研究Ⅱ：言語と社会

\* 専門科目については、所属学部の指導教員と相談の上、履修科目を決定する。日本語・日本研究等の科目については、留学生教育・支援センターにおいてプレースメントテストを受け、その結果に基づいてセンターの担当教員が履修ガイダンスを行い、履修科目を決定する。

### 1) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・平和学習バスハイク
- ・防火訓練

\* 所属する学部のゼミ等で専攻に応じた地域見学・研修等が行われる場合がある。

### 2) 修了研究の内容

所属学部の指導教員と相談の上、決定される。

### 3) 日本人学生との共修の機会

研修目的が (a) であっても (b) であっても、学部所属となるので、専門科目については当然日本人学生との共修となる。指導教員のセミナーにも参加できる。

### 4) その他の講義、選択科目等

・教養教育自由選択科目  
希望に応じて、教養教育の自由選択科目を受講することができる。

## ⑧ 年間行事・年間スケジュール

9月下旬：渡日

10月 後期履修オリエンテーション  
後期授業開始

11月 平和学習バスハイク  
防火訓練  
長崎大学学園祭

12月 外国人留学生の集い

2月 後期授業終了

4月 前期履修オリエンテーション  
前期授業開始

8月 前期授業終了  
閉講式

8月下旬：帰国

## ⑨ 指導体制

各人の専門分野により、所属学部を決め、指導教員を定める。指導教員は各人の専門分野について適宜、個別指導を行う。また、留学生教育・支援センターにおいても担当教員が、日本語の学習について指導する。

## ⑩ コースの修了要件

前・後期合わせて14コマ（1コマ90分）以上を履修し、合格した者には修了証書を発行する。

## ■ 宿 舎

長崎大学には、国際交流会館（西町本館・A棟・B棟）、坂本分館、国際学寮ホルテンシア（A棟・B棟）の留学生用宿舎が設置されている。但し、数に限りがあるため、希望者全員が入居できないこともある。その場合は、民間アパートを借りる。留学生向けの居室数等は、右記のとおりである。

（2018年5月1日現在）

### 宿舎数

・ 単身室	76室
・ 2人シェア	12室
・ 4人シェア	117室



### 宿舎費（1人あたり）

・ 単身室	¥8,177	¥11,384	¥20,589
・ 2人シェア	¥12,560	¥12,516	
・ 4人シェア	¥19,275	¥22,000	

### ○ 宿舎設備・備品

エアコン・ベッド・机・椅子・洋服ダンス・  
電気スタンド・冷蔵庫・シャワー・トイレ・  
洗濯室（共用/専有）・補食室（共用/専有）

### ○ 宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際交流会館および国際学寮ホルテンシアは、文教キャンパス（メインキャンパス）から徒歩で15分程度の距離に位置している。閑静な住宅街に立地し、付近には公務員宿舎も併設されている。国際交流会館坂本分館は本学附属病院の敷地内に設置されており、医学部及び歯学部へは徒歩で数分の距離にある。付近には商店街があり、生活必需品等がいつでも購入できる。文教キャンパスまでは、路面電車を利用して20分程度である。

## ■ 修了生へのフォローアップ

学術研究等の相談があった時は、メールやSNS等でもいつでも応じる体制を取っている。

## ■ 問合せ先

### <担当部署>

長崎大学学生支援部留学支援課  
〒852-8521

長崎県長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2209（直通）

FAX: 095-819-2125

Email: [ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp)

### <ウェブサイト>

長崎大学ホームページ

<http://www.nagasaki-u.ac.jp>

長崎大学留学生教育・支援センターホームページ

<https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/>

